

2013年度 学会発表(症例報告は除く)

番号	氏名	発表課題名	学会名(場所・年月)
1	片岡葉子	治療戦略としての患者教育	第25回日本アレルギー学会春季臨床大会, 2013.5.11-12, 横浜
2	Kataoka Yoko	BIO, PSYCHO, SOCIAL LONG-STANDING EFFECT OF 2-WEEK HOSPITALIZED EDUCATIONAL PROGRAM WITH SIMULTANEOUS INTENSIVE DERMATOLOGICAL TREATMENT FOR ADULT REFLACTORY SEVERE ATOPIC DERMATITIS	15th Congress of the European Society for Dermatology and Psychiatry, June 6-8,2013,Roskilde Denmark
3	片岡葉子	皮膚心身医学総論	第112回日本皮膚科学会総会, 2013.6.14-16, 横浜
4	片岡葉子	養育者のQOL評価と皮膚科診療への還元ー乳児アトピー性皮膚炎養育者のQOL向上へのとりくみからー	第112回日本皮膚科学会総会, 2013.6.14-16, 横浜
5	片岡葉子	TARCの登場とアトピー性皮膚炎治療のブレイクスルーー小児における意義と活用ー	第23回日本外来小児科学会年次集会, 2013.9.1, 福岡
6	片岡葉子	ドライスキン・スキンケアのpitfall	第29回日本臨床皮膚科医会近畿ブロック総会・学術大会, 2013.10.6, 和歌山
7	片岡葉子	アトピー性皮膚炎診療の質Quality Indicatorを考える	第64回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 2013.11.2-3, 名古屋
8	吉岡詠理子, 別所 優, 岸田寛子, 西野 洋, 片岡葉子	重症乳幼児アトピー性皮膚炎早期寛解導入外用療法による食物アレルギー成立の回避;臨界期の検討	第63回日本アレルギー学会秋季学術大会, 2013.11.28-30, 東京
9	片岡葉子	アトピー性皮膚炎は適切に治療されているのか?眠れる皮膚科医よ、目を覚ませ!	第43回日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会, 2013.11.29-12.1, 金沢
10	吉岡詠理子, 別所 優, 原田潤, 岸田寛子, 片岡葉子	重症乳児アトピー性皮膚炎早期寛解外用療法による食物アレルギー成立の回避;臨界期の検討(優秀賞受賞)	第72回臨床アレルギー研究会, 2013.12.21, 大阪
11	片岡葉子	ステロイド外用薬をどう使うか?	アトピー性皮膚炎第19回シンポジウム, 広島(2014.2.2)
12	片岡葉子	寛解をめざすアトピー性皮膚炎の治療:ステロイド外用療法を再考する	第77回日本皮膚科学会東京支部学術大会, 東京(2014.2.15-16)